

No.211

令和7年6月定例会号
2025年8月1日発行

いるま

市議会

だより

6月定例会

入間市税条例の一部を改正する条例など
23の議案等を審議 P. 2

定例会議決結果 P. 3

議案をピックアップ P. 4

17名が一般質問 P. 5

入間市税条例の一部を改正する条例など 23の議案等を審議

令和7年6月
定例会

6月2日～6月25日
会期24日間

▶市長提出議案

人事案件……4件 条例……4件
一般議案……11件 令和7年度補正予算……4件

これらの条例を可決しました

議案第42号

入間市税条例の 一部を改正する条例

・所得控除について、
19～23歳未満の特定
親族特別控除が創設
されました。これに
伴い、公的年金等受
給者の個人住民税申告義務の規定及び給与
所得者の扶養親族等申告書の記載事項に特
定親族を追加するものです。



・加熱式たばこに係る市
たばこ税の課税標準の特
例を、法規定に合わせて
新設します。

議案第58号

入間市特別職の職員で 非常勤のもの報酬及び 費用弁償等に関する条例の 一部を改正する条例

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関
する法律の一部改正に伴い、選挙長等の報
酬の報酬額を引き上げるものです。

また、国の農地利用最適化交付金事業実
施要綱の改正に伴い、農業委員及び農地利
用最適化推進委員に支給する報酬のうち、
年額で支払われる農地利用の最適化に係る
活動実績に応じた報酬額を引き上げるもの
です。

議案第43号

入間市非常勤消防団員に係る 退職報償金の支給に関する条例の 一部を改正する条例

消防団員等公務災害補償等責任共済等
に関する法律施行令の一部改正に伴い、退職
報償金支給額表の勤務年数区分に新たに35
年以上の区分を追加するものです。



議案第59号

入間市議会議員及び入間市長の 選挙における選挙運動用自動車の 使用等の公営に関する条例の 一部を改正する条例

公職選挙法施行令の一部改正に伴い、市
議会議員及び市長の選挙における選挙運動
用ビラ及びポスターの作成に係る公費負担
の限度額を算出するための単価を引き上げ
るものです。

議決結果

議案等の詳細は、「入間市議会 情報公開システム」でご覧いただけます。



全会一致で可決された議案等

議案等番号	件名
38	人権擁護委員候補者の推薦について
39	人権擁護委員候補者の推薦について
40	入間市公平委員会委員の選任について
41	入間市教育委員会委員の任命について
42	入間市税条例の一部を改正する条例
43	入間市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例
44	市道路線の廃止について（市道A744号線）
45	市道路線の認定について（市道A744号線）
46	市道路線の廃止について（市道C159号線）
47	市道路線の認定について（市道C159号線）
48	市道路線の認定について（市道F845号線）
49	市道路線の認定について（市道F846号線）
50	市道路線の認定について（市道G699号線）
51	北口地区地下調整池設置工事請負変更契約の締結について
52	財産の取得について
53	入間市土地開発公社の解散について
54	令和7年度入間市一般会計補正予算（第1号）
55	令和7年度入間市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
56	令和7年度入間市介護保険特別会計補正予算（第1号）
57	令和7年度入間市下水道事業会計補正予算（第1号）
58	入間市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
59	入間市議会議員及び入間市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例
60	財産の取得について

市長提出議案

※令和7年6月定例会では、賛否が分かれた議案はありませんでした。



議案をピックアップ

定例会で審議された議案のうち
2つの議案をご紹介します。

議案第52号

消防ポンプ自動車の取得

入間市消防団第3分団第3部にて使用する消防ポンプ自動車（3.5トン未満CD-1型）を取得するものです。

取得金額	23,485,000円
取得の相手方	埼玉消防機械株式会社

今回取得する消防団車両は、従来配備していた消防ポンプ自動車と同等の放水能力を持ちながら、車体が小型で狭い道路でも小回りがきき、普通自動車免許で運転可能な車両です。

積載している資機材は、消火活動に必要な消防ホースや管そう（ホース筒先）のほかに、エンジンカッター、チェーンソー、救出救助資機材などがあり、消防団装備の充実強化を図っています。



参考画像：同型車種である第5分団第1部の消防ポンプ自動車とその装備品の一部



▲パーティーション



▲折りたたみベッド

議案第60号

防災備蓄品の取得

国の交付金を活用し、避難所の生活環境向上を図る備蓄品であるパーティーション2,400張、折りたたみベッド500個を取得するものです。

取得金額	31,594,200円
取得の相手方	株式会社サイボウ

パーティーションは、避難所用間仕切りテント型で、上部が熱のこもりにくいメッシュ状になっており、テント内が4㎡と広く大人2人がゆったりと休めます。授乳時や就寝時のプライバシーを守る、上部目隠しシートも付いています。

折りたたみベッドは、シートの材質がポリエステル、フレームが鉄でできているもので、簡単に設置できるワンタッチ組立式です。起き上がりが楽に行える起き上がり用ベルトや、500mlボトル・医薬品等が入るポケットが付いています。

一般質問

市政の“ここ”が聞きたい!

一般質問とは、議員が市長などの執行部に対して、事務の執行状況や将来の方針、課題などの行政全般について質問することです。

6月定例会では、3日間にわたり17人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。各議員の質問と答弁の内容を掲載します。

※ 質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



一般質問の動画をご覧ください。各議員の名前横にあるQRコードからアクセスしてください。



入間市駅前の美化 不登校児童生徒の推移

町田 健治 議員



質問 入間市駅改札口を出てそのまま進むと通路がある。通路の手すりや足元のタイルの汚れ、街灯ポールへの錆びつき、壊れたレンガ、草が生えている所や汚れたままの場所もある。これらの現状に対して今後の整備計画と方法について聞かせてほしい。

都市整備部長 利用者に危険が及ぶおそれがあるものについては、その都度整備を行っている。今後の整備計画はない。

質問 入間市駅前を市民が誇りの持てるような場所、自慢が出来るような場所にするために、そのアイデアを市民から募集し、入間市駅前の美化計画を市民公募型の企画にしてはどうか。

市長 これまでの適切な維持管理を継続することが重要であると考えている。

質問 令和6年度不登校対策事業5,795,000円の対価と成果について。

教育長 オンライン不登校支援プログラム利用に係る予算が最も多く全体の90%。

質問 中学校には通えないが、塾には通える生徒の出席扱いについて。

教育長 規定を満たせば可能。

質問 高校生の不登校生徒の把握は。

教育長 詳細に把握することは所管外。

質問 高校卒業後のケアの方法は。

教育長 具体的なケアは所管外。



入間市駅前通路の実態



安全で快適な自転車 利用を目指して

末次 正 議員



質問 令和8年4月からの道路交通法改正で、青切符制度が導入され、自転車の交通違反者には反則金が発生する。制度の周知について、市民と教育現場の対応を問う。

危機管理安全部長 秋・冬の交通安全キャンペーン、交通安全市民大会等、自転車駐車場での周知・啓発を行う。

教育部長 埼玉県警の依頼に基づき、小中学校への通知、校長会議での情報共有、保護者へは連絡アプリ等で周知する。

質問 歩道を走行できる「普通自転車」とはどのような自転車か。

危機管理安全部長 幅60cm、長さ190cm以内で4輪以下のものが「普通自転車」と定義され、歩道の走行が可能。それを超える自転車は、歩道は走行できない。

質問 多くの市民は、マウンテンバイク等も同じ自転車のくくりで理解している。細かい規定を周知するべきでは。

危機管理安全部長 今後周知をしていく。

質問 旧西武中学校の備品の処分方法は、**教育部長** 他の学校、公共施設で活用し、残ったものは産業廃棄物として処分する。

質問 今後の小学校の統合に向け、官公庁向けオークションサイトへの出品を検討すべきでは。

教育部長 備品処分制度の見直しを検討。



令和8年4月から「青切符制度」導入で自転車運転違反の罰則が強化



高齢者移動・おくやみ 窓口・健康推進クラブ

向口 文恵 議員



質問 高齢者の移動支援は喫緊の課題であり早急に移動手段を確保すべき。「ていーろーど・ていーワゴン」再編の時期は。

都市整備部長 入間市地域公共交通協議会の協議を踏まえ令和9年度実現を目指す。

質問 ①乗り合い送迎サービス「チョイソコ」事業の実装化の可能性は。②新たな高齢者移動支援の取り組みを。③住民主体の「介護予防・日常生活支援総合事業」を活用した移動支援への見解。

福祉部長 ①医学的な効果が認められたがデマンド交通とは切り離すことになった。②まずは現在の介護事業所の移送支援や移動販売の拡充を図る。③市では「訪問型サービスB」を実施。今後調査・研究を継続。

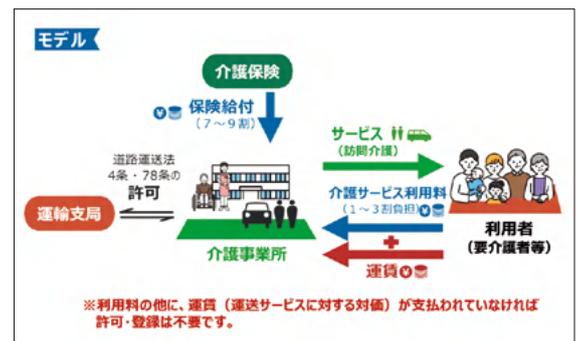
質問 やまゆり荘廃止後の「健康推進ク

ラブ」の①活動の現状は。②健康福祉センターの一部を拠点にできないか。

市長 ①事務局を高齢者支援課内に配置し、市民活動センターの会議室を利用。②他団体が利用。公平性の観点からも難しい。

質問 「おくやみ窓口」の設置を二度にわたり要望してきたがその後の検討状況は。

市民生活部長 情報収集に努力。ご遺族のためのガイドブックを制作し、ホームページ内にサイトを公開。新庁舎開設時に機能を組み込むことが望ましいと考える。



国土交通省「高齢者の移動手段を確保するためのパンフレット」から抜粋



ごみの分別、児童発達支援について

吉田 賢一 議員



質問 ごみ組成調査の結果は。

環境経済部長 減少傾向にあるが、資源化できるものが混入されている状況である。

質問 EV活用再生可能エネルギーマネジメント事業の取組内容は。

環境経済部長 「EVの使用による環境負荷の低減」、「災害時の防災レジリエンス強化」を目的として、公用車にEVを導入する取組を進めてきた。

質問 EV公用車以外の利用方法は。

環境経済部長 イベント等での電源としての利用や有事の際の電源として利用する。

質問 児童発達支援の現状は。

こども支援部長 市内8か所の民間事業所と、入間市児童発達支援センターの計9か所の児童発達支援事業所がある。1日の利

用定員は、9か所合計で96人。

質問 グレーゾーンといわれるこどもへの対応は。

こども支援部長 児童発達支援センター「ういず」では、発達に気がかりのある保護者からの相談があれば、「相談支援」として、随時受けている。それぞれのこどもや家庭に合った適切なサービスを紹介するなど、こどもと家庭に寄り添った支援を展開している。今年度から専門性を強化して実施している。



児童発達支援センター「ういず」



雑がみ回収に関するQRコード



体育館のエアコン設置 災害用井戸・ピアノ

栗山 英美 議員



質問 小・中学校体育館へのエアコン設置推進のため、国が新たな交付金を創設。早急に実施計画を策定し、エアコン設置を推進すべきと思うが市の見解は。

教育部長 国の交付金活用を検討し、学校の統廃合計画との整合性をとりながら、現実的効果的にエアコン設置を進めていく。中長期的な実施計画を準備中である。

質問 避難所生活の生活用水不足解消のため、災害用指定井戸の活用が目目されている。当市の災害用指定井戸の現状は。

危機管理安全部長 市内に75本あり、年1回13項目の水質検査を実施している。

質問 指定避難所の生活用水、特にトイレに使う生活用水確保に向けて、指定避難所と災害用指定井戸の連携について、ガイ

ドラインを策定すべきと思うが見解は。

危機管理安全部長 簡易トイレなどの備蓄資機材の整備や、受水槽・防火水槽の活用など多様な対策を考えている。災害用指定井戸は、所有者の善意によるところから指定避難所との連携は難しいと考える。

質問 旧入間市市民会館のグランドピアノを市民に向けて有効活用を。

市民生活部長 現時点で活用の予定はないが、今後新たな市民会館で開放デーを設けるなど活用について検討していく。



藤沢東小学校体育館



ダブルケア・ビジネス ケア こどもの居場所

永澤 美恵子 議員



質問 晩婚化等の時代背景に伴い、子育てと介護を同時に担うダブルケアが増加。負担軽減のために介護と子育ての連携が重要。①相談窓口の一本化を。②保育所や介護施設の入所要件緩和を。

こども支援部長 ①関係機関と緊密に連携。②就労月160時間より加算点は大きい。

質問 働きながら介護をしているビジネスケアラー支援には企業側の理解が重要。①市内企業へ周知啓発すべきでは。②土日に相談できる体制を整えるべきでは。③ケアラーを地域で支える対策を。

福祉部長 ①ホームページ等で徹底。②地域包括支援センターは土曜日も実施。③家族介護者の負担軽減に取り組む。

質問 学校や家庭に馴染めない若者の第

3の居場所の重要性が高まっている。①現在実施している「AIKURU FREE BASE」等が将来に渡り継続できるように、行政が支援を行うべきでは。②新たな居場所の検討を。

こども支援部長 ①現在検討していない。②法人と検討していく。

質問 児童生徒の第3の居場所であるフリースクール。

①学校との連携は。②通える距離に子どもの居場所を。

教育長 ①ガイドラインに従い連携。②今春全小中学校に「茶ージルーム」を設置。



若者の居場所AIKURU FREE BASE
(あいくるふりーべーす)
あいくるHPより



校則・手話言語条例・ 中高生の居場所づくり

細田 智也 議員



質問 令和2年9月定例会にて、各中学校の校則を原則公開することを要望したが、5年経過した現在はどのような状況か。

教育長 HP上で生徒心得を公開している学校は1校。教育の透明性向上の観点からも、校長会議等で改めてHPでの公開について検討、実施するよう再度周知していく。

質問 ①手話言語条例制定後、市としての取り組みは。②今後の展望は。

福祉部長 ①広報いるま、市公式YouTube等も活用し、市民に手話への関心と理解が深まるよう努めている。②先進自治体も参考に、市民や事業者等に周知や啓発方法を検討。聴覚障害者団体や担当部署と連携し、手話に関する研修や講座も検討していく。

質問 手話通訳者・要約筆記者は充足し

ているのか。

福祉部長 不足している状況ではない。しかし、派遣依頼の重複、意思疎通支援者の心身の負担軽減等から、市に登録の意思疎通支援者を増やし、更なる体制の充実を図っていきたい。

質問 ①市の青少年への支援に対する考え。②常設の居場所整備に対する市の考え。

こども支援部長 ①多様な居場所を作っていくことは重要である。②既存の施設の機能強化を図っていく。



松戸市中高生世代の居場所



危機管理・災害対応・ 緑地保全

大野 勉 議員



質問 介護施設等のBCPの策定状況は。
健康推進部長 BCP未策定だった18介護施設等については、令和6年度中に、すべての介護施設等で策定された。

質問 BCPによる危機管理体制の整備は。
危機管理安全部長 人的・物的支援を受け入れる受援計画の内容が固まりつつあるので、BCPの改定に着手した。

質問 防災訓練のうち本部機能訓練は。
危機管理安全部長 想定のみでのブラインド手法を用いた対応方針の検討・審議を行うなど、より実践的な訓練を行っている。

質問 通常業務での職務代理と危機管理下での命令系統の違いは。

市長 通常業務では、市長に事故ある場合は副市長が、いずれも事故ある場合には、

企画部長が職務を代理し、災害下においては、副市長、危機管理安全部長、危機管理課長の順で職務を代理する。

質問 彩の森入間公園と市との連携は。
危機管理安全部長 「災害時における避難所及び防災施設の運営に関する協定」を締結しており、連携体制が構築されている。

質問 緑の基金の今後の見通しは。
都市整備部長 基金の大幅な増加は見込めないが、ふるさと寄附金を含め、PRを積極的に行うなど、基金の充実に努める。



彩の森入間公園の
かまどベンチ



マンホールトイレ



二地域居住・自治会DX 入間ブランド・鳥獣害

双木 小百合 議員



質問 移住・定住策と二地域居住の展望。

市長 30~40代の転入超過傾向分析で妊娠から切りのない子育て支援、子どもの居場所づくり事業、若手職員による住みやすさが実感できるまちPR事業実施で家族層の移住定住先に選択される施策を展開中。地域の特色を活かしたPRや施策等により関係人口の創出拡大への仕組構築を研究する。

質問 自治会DXで地域運営、金子地区例。

市民生活部長 自治会の現状に応じデジタル化による課題解消に取り組む。タブレット活用のオンライン会議、情報共有、地域の良さを活かし地域間の連携強化で地域運営の負担軽減を図り、安全な地域社会の構築による区・自治会加入の促進を目指す。

質問 入間ブランド認定事業と展望。

環境経済部長 R6.12月開始の魅力的な推しの一品をブランド化、認定する事業。第1期の認定品として市内で製造、生産、加工、企画された商品の中から、茶葉や菓子飲料、工芸品など16事業者の34商品を認定。地域資源の要である狭山茶関連商品が多い。

質問 有害鳥獣と生活環境との影響関係。

環境経済部長 有害鳥獣は人間の生活や農作物に害を及ぼす。異常気象、開発など生息環境が変化し餌不足から市街地へ出没、目撃情報で、市を含む関係機関が対応する。



第1期「入間ブランド認定品」
入間市観光協会



中心市街地活性化・ 万博への参加について

内村 忠久 議員



質問 中心市街地の整備当初の狙いは。

都市整備部長 地域経済の発展や賑わいのある新しい生活拠点の創出などを図る。

質問 今後の中心市街地活性化に向けて①新たな取組み。②空き店舗対策事業。③今後の具体的な方策。

環境経済部長 ①まるぺ通りに「チャレンジエリア」「ブルーナイトストリート」の設定設置。②入間市空き店舗活用創業等支援補助金を交付。今年度から要綱見直しを検討、活用拡大し、空き店舗活用を推進。③市と商店街をはじめとする関係者と課題を共有し連携を深め、賑わいと活気に満ちた中心市街地の実現に取り組む。

質問 地区センター「自治振興支援機能」について、課題とその解決策は。

市民生活部長 現在、調整役の役割を果たせていない。センターとして調整力を向上し団体間の橋渡しを担う体制作りが重要。

質問 大阪・関西万博自治体参加催事事業参加の概要と出店内容は。

企画部長 7月28日から4日間「日本茶の文化と風味を楽しむ」と題しブース出展。

質問 万博参加を踏まえた今後のシティプロモーションの方向性は。

市長 狭山茶や入間を世界に発信、狭山茶販路拡大、観光誘致、魅力発信を進める。



まるぺ通りの「チャレンジエリア」「ブルーナイトストリート」



東町と森坂の鉄道踏切 義務教育での環境教育

宮岡 治郎 議員



質問 市の幹線道路と踏切について。(1)市道幹2号線の、豊岡第一病院付近の踏切の歩道設置で、工事の進捗状態と課題は。

(2)市道幹24号線（通称森坂）の、県道富岡入間線南側付近の狭い踏切が絡み、県道の通過車両の交通渋滞は、発生しているか。

都市整備部長 (1)踏切の東西の道路は、歩道を含めて改良工事は完了。鉄道事業者の社内事情で時間を要しているが、市は粘り強く協議を重ねる。(2)踏切の遮断中には、仏子方面から右折し踏切を横断する車両が、鍵山方面への通過車両を一時的に渋滞させるが、慢性的な渋滞には繋がっていない。

質問 小・中学校の環境教育について。(1)地球的規模での環境問題の現状を、児童生徒はどう理解しているか。(2)自然環境に

親しむ機会を、どう取り入れるか。(3)入間市の、副読本の変遷はどうなっているか。

教育長 (1)温暖化に伴う異常気象で、水害の増加、海面上昇、生態系への影響等を学んでいる。(2)森や川の散策等、学習が計画的に位置付けられている。身近な自然への取り組みの例もある。(3)平成9年度から、小・中学校用の副読本が、発達段階に応じて発行された。その後、文科省の学習指導要領が改訂され、環境教育は各教科で扱う事が明記された。現在教科書で扱っている。



小・中学校で使われてきた環境副読本
入間市教育委員会（所蔵）



地区センターへの交通 手段・立体都市公園

野口 哲次 議員



質問 4つの分館は令和10年度をもって廃止される。市は分館を利用している方たちの不安解消に向けて「交通手段の検証」に取り組むことを約束した。取組みに実効性が見込めない場合の対応は。

市長 分館廃止の説明の際、示した「交通手段の検証」は、課題の一つとして挙げたものであり、解決することが分館廃止の条件でないことは議員もご承知と存じます。

質問 市長も担当課も地区センターへの「足の確保」は重要と述べている。条件となっているのでは。

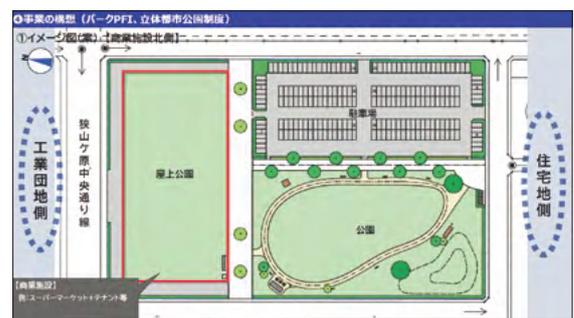
市長 地区センターの利用を目的とする地域公共交通の再編とはならない。

質問 約束しているのだから、できないなら分館廃止の見直しを。

市長 約束の意味が分からない。

質問 狭山台に約2haの公園予定地がある。そこに、約1万㎡の平場の公園と最大5千㎡の敷地に建物を商業施設、屋上を公園とする立体都市公園、残りを駐車場等にする事業が進行している。商業施設と公園を別に整備することもできたのか。

市長 緑地の関係から公園から除外できるのは約6千㎡。サウンディング調査から、立体都市公園を利用した広さでないと商業施設は建たない。



「狭山台地区近隣公園」事業の構想



学校統合・構想路線・ パークPFI

長谷川 渉 議員



質問 宮寺小学校・狭山小学校の統合に向けて、今後のスケジュールは。

教育部長 本年度下半期には学校統合委員会を設置し、関係者の意見聴取や諸課題の検討が十分にできるよう調整を進める。

質問 上藤沢・林・宮寺間新設道路第3工区林運動場から県道所沢青梅線の進捗状況は。

都市整備部長 入間市の用地取得率は約75%、残り4件の用地取得の内2件契約。

質問 市道G544号に接する理容室の土地家屋が売物件になり踏切を移設し平面交差化を西武鉄道に対し要望をし、可能性があれば先行取得すべきと考えるが見解は。

市長 本件については特に鉄道事業者に対して意向確認を行っているものではない

ので、平面交差化での踏切の移設について、まずは鉄道事業者に対し要望をしていく。

質問 狭山台地区近隣公園パークPFI事業の事業者応募状況・今後のスケジュールは。

都市整備部長 5月28日の期限までに応募登録があり、今後は応募登録した事業者

より公募設置等計画書が提出され、10月下旬に提出された計画を認定し、令和8年1月に事業者と基本協定締結後、事業者による設計及び工事を着手し、令和10年3月より供用開始を予定している。



仏子駅近くの市道G544号線



狭山台地区近隣公園予定地



精神障害者支援の拡大 いじめ対策他

池島 司 議員



質問 埼玉県の予算において、令和8年1月より拡大される重度心身障害者医療費助成制度の具体的な助成対象は。

福祉部長 精神障害者保健福祉手帳2級所持者の自立支援医療制度における精神通院医療に係る自己負担額の部分が拡大対象。

質問 入間市の対象者数と必要な予算は。

福祉部長 令和7年3月末時点の2級所持者数は1,166人。このうち自立支援医療制度の精神通院医療受給者983人が対象。この人数での試算で最大約5,660万円の予算増が見込まれる。うち1/2は県の負担で、市の予算増額は、最大で年間約2,830万円を想定。

質問 現在も県が拡大を行えば、市も拡大する方針に変わりはないか。

福祉部長 方針に変わりなく、県と同様

に対応したい。見直しについては審議会への諮問答申後、条例改正やシステム改修等の準備が整い次第実施していく。

質問 いじめの加害者に対する対応は。

教育長 加害に至るまでに原因・背景があり、その背景にも迫っている。加害者のケアに保健関係者にも入ってもらっている。

質問 いじめ防止基本方針の条例化は。

教育長 条例化は検討していないが「いじめ見逃しゼロ」を目指して対応している。

【その他】「朝の小1の壁」対策について



令和6年度障害者週間最優秀賞のポスター
(内閣府ホームページより)



住み続けられる 高倉地区に

田山 雅子 議員



質問 高倉及び文化村地区は公共交通空白地域。高低差のある地区で要望も何度も出されているのに、コミュニティバス導入を長く待たされている。早急に導入してほしい。

都市整備部長 令和7年度にコミュニティバス全体の再編を検討するので、その一環で検討するものと考えている。

質問 高倉分館は地形的・社会的・文化的に必要な施設であり、避難場所としても重要な施設。存続を。

危機管理安全部長 維持していく体力があれば施設を維持してほしいが難しい。

質問 西武中の建設予算が当初予算の倍以上になった。他の工事も予算が増えている。施設の数減らせば維持管理費が減る

と言うが、このままでは施設を減らすためのコストで市の予算がパンクするのでは。公共施設マネジメント事業計画の見直しを。市民から集めた税金は市民のために上手に使ってほしい。

市長 公共施設マネジメント事業計画の方針は堅持すべきと考える。第一期の反省や昨今の物価高騰の影響を踏まえ、第二期事業計画の策定の際には必要な修正や見直しを加えていくことが重要と認識している。



高倉スマイル広場の開催や、高倉芸能保存会の活動等が行われている高倉分館



学童保育の充実を・要 援護高齢者タクシー券

安道 佳子 議員



質問 入間市の学童保育の現状について。

子ども支援部長 少子化にも関わらず学童保育のニーズは高い。待機児童は令和7年4月現在86人。支援員補助員は合計98人。

質問 学童保育は長年公設公営である。なぜ、一括民営化なのか。市民や保護者、職員への説明会やパブリックコメントを実施し、意見を反映すべきでは。

子ども支援部長 一括民営化は市の素案たたき台であり、審議会の答申はまだ無い。保護者への説明会は、受託事業者決定後に説明会を実施する。審議会に諮っているため、パブリックコメントは実施しない。

質問 100人近い職員の雇い止めは、公務労働において問題では。

子ども支援部長 民営化後も継続して勤務

したい支援員・補助員は、受託事業者に継続勤務できるよう要請する。

質問 安心して子どもたちが過ごせるよう公設公営で学童保育を継続すべきでは。

市長 学童保育の直営・民営については審議会の答申による。子どもたちにとっていい環境をつくるのが大事。

質問 要援護高齢者等タクシー利用券の継続で、高齢者の交通支援を行うべきでは。

市長 近隣市に同様の事業は無い。限られた財源の中で真に必要な方に支援する。



扇学童保育室（公設公営）の様子



住宅リフォーム助成 制度の創設を

佐藤 匡 議員



質問 リフォームの需要について。

都市整備部長 電話や窓口での問い合わせがあり、住宅リフォームの需要はあるものと捉えている。

質問 20倍以上の非常に大きな経済効果があるということについてお聞きする。

環境経済部長 本市では平成16年度から3年間、地域経済対策として助成制度を実施した。施工する場合に補助率5%、上限10万円。実績交付件数111件、補助金額633万9千円、工事総額1億5,800万円であり、一定の経済効果があったと認識している。

質問 建設業者を守り災害に強い入間市に。

市長 今後とも建設業等と連携を図りながら、市民の安心と安全につながるまちづ

くりを努める。

質問 点検詐欺が増えている。住宅リフォーム助成制度を創設することで、市民を身近な市内業者に結び付け、安心できるまちにしていくべき。

市長 国や市において住宅リフォームに関連する様々な補助事業が実施されている。エコカーに対する補助はするが一般の中古車に対する補助はないのと同じで、何か政策誘導があって目的に合致した制度に対する補助を的確にしていくことが重要である。



屋根のリフォーム

入間市議会の「委員会」を紹介します

委員会は、本会議で議決する前にいくつかの部門にわかれて専門的に慎重審査する会議です。
入間市議会では、3つの常任委員会、議会運営委員会、基地対策特別委員会が設置されています。

総務常任委員会

委員長 宮岡 治郎
副委員長 双木小百合
委員 田山 雅子
益田 英主
大野 勉
永澤美恵子
野口 哲次
小島 清人

企画部、総務部、市民生活部、危機管理安全部、会計課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会に関する事項、他の常任委員会に属しない事項を審査。

6月定例会で審査した議案

議案第42号 入間市税条例の一部を改正する条例
議案第43号 入間市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例
議案第53号 入間市土地開発公社の解散について
議案第54号 令和7年度入間市一般会計補正予算(第1号)のうち所管のもの

都市経済常任委員会

委員長 池 畠 司
副委員長 末 次 正
委員 佐 藤 匡
町田 健治
細田 智也
内村 忠久
横田 淳一

環境経済部、都市整備部、上下水道部、農業委員会に関する事項を審査。

6月定例会で審査した議案

議案第44・45号 市道路線の廃止・認定について(市道A744号線)
議案第46・47号 市道路線の廃止・認定について(市道C159号線)
議案第48号 市道路線の認定について(市道F845号線)
議案第49号 市道路線の認定について(市道F846号線)
議案第50号 市道路線の認定について(市道G699号線)
議案第54号 令和7年度入間市一般会計補正予算(第1号)のうち所管のもの
議案第57号 令和7年度入間市下水道事業会計補正予算(第1号)

福祉教育常任委員会

委員長 長谷川 渉
副委員長 向口 文恵
委員 安道 佳子
山川さおり
吉田 賢一
栗山 英美
古仲 リカ

福祉部、子ども支援部、健康推進部、教育委員会に関する事項を審査。

6月定例会で審査した議案

議案第54号 令和7年度入間市一般会計補正予算(第1号)のうち所管のもの
議案第55号 令和7年度入間市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
議案第56号 令和7年度入間市介護保険特別会計補正予算(第1号)

議会運営委員会

委員長 内村 忠久
副委員長 末 次 正
委員 安道 佳子
益田 英主
向口 文恵
池 畠 司
双木小百合
長谷川 渉
宮岡 治郎

議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項を審査。

基地対策特別委員会

委員長 内村 忠久
副委員長 長谷川 渉
委員 佐 藤 匡
山川さおり
末 次 正
向口 文恵
吉田 賢一
大野 勉
双木小百合

入間基地及び横田基地に関する諸問題のうち市民生活に影響のあるものの調査等。



入間市
マスコットキャラクター
「いるティ」

政務活動費って??



Q 政務活動費って何ですか？

A 地方自治法第100条第14項のもと定めた「入間市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、市議会議員の調査研究その他の活動のために必要な経費の一部を会派に対し交付する経費です。

Q 政務活動費の交付額と交付方法は？

A 入間市では、会派の所属議員1人当たり月額2万円(年額24万円)を半期ごとに交付しています。なお、交付額と交付方法は自治体によって様々です。

〈参考〉 狭山市：月額2万円(年額24万円)を半期ごと
所沢市：月額7万円(年額84万円)を半期ごと
飯能市：年額18万円を一括
日高市：年額12万円を一括

Q 使い道は決まっているの？

A 政務活動費は、市政に関する調査研究その他の活動のために必要な経費に使うものです。原則として**飲食代に使用することは認められていません。**

調査研究費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
研修費	会派が研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費
広報費	会派が行う活動及び市政について住民に報告するために要する経費
広聴費	会派が行う住民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
会議費	会派が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費
資料作成費	会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
物品購入費	会派が行う活動に必要な事務用品等物品の購入に要する経費

上記の他、要請・陳情活動費、人件費、事務所費に使用が認められています。

Q 使った内容は公開されているの？

A 議員は年度終了後に、議長に収支報告書・事業実績報告書を提出し報告しています。なお、収支報告書の提出にあたり、領収書など支出の事実を証する書類の添付が必要です。

領収書が発行されない公共交通機関利用等を除き、**すべての支出に対し、1円からの領収書等の添付を義務付けて**います。

収支報告書の内容や領収書等は、ホームページや市政情報コーナー(市役所B棟3階)で、過去5年分を公開しています。

政務活動費の
収支報告等
はこちら



政務活動費／入間市



議会を 傍聴 してみませんか？

市議会で行われる本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。議会活動や市の施政方針、身近な問題が審議・決定される等、市議会の活動にふれることができる身近な方法です。
また、車いすでの傍聴、聴覚に障害がある方等の傍聴（ヒアリンググループ・手話通訳者、要約筆記者派遣は事前に申請が必要です。）もできますので議会事務局までご連絡ください。



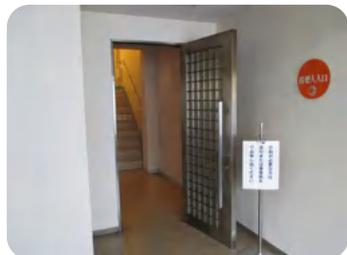
市役所西口エレベーターで5階まで上がります。



エレベーターを降りると、正面に傍聴受付があります。



傍聴申込書に「住所」「氏名」「年齢」を記入し、傍聴券と傍聴資料を受け取ってください。



受付の左右にある傍聴者入口より入場してください。



議場の傍聴入口より議場に入り、傍聴できます。傍聴席の座席は自由です。



お帰りの際は、傍聴券を受付に返却してください。

入間市議会では、車いす用傍聴席3席とともに、段昇降機を設けております。ご利用を希望される方は議会事務局職員までお声掛けください。
傍聴受付をしていただいた後、傍聴席までご案内します。



いるま市議会だより No.211



表紙／キッズボルダリング体験
(令和6年撮影)

撮影／茶の都市民カメラマン 横山 満さん

編集／議会広報委員会

- ◎宮岡 治郎
- 大野 勉
- 安道 佳子
- 町田 健治
- 末次 正
- 向口 文恵
- 双木小百合
- 細田 智也
- 栗山 英美

発行／入間市議会

入間市議会



http://www.city.iruma.saitama.jp/gyosei_joho/83/index.html

9月定例会日程案

- 8月29日(金) 開会
- 9月 8日(月) 総括質疑
- 9月 9日(火) 総括質疑
- 9月10日(水) 総務常任委員会
- 9月11日(木) 都市経済常任委員会
- 9月12日(金) 福祉教育常任委員会
- 9月17日(水) 一般質問
- 9月18日(木) 一般質問
- 9月19日(金) 一般質問
- 9月26日(金) 閉会

※日程については、変更する場合がありますので、議会事務局へお問い合わせください。